

2011年11月30日  
日興アイ・アール株式会社

### 日興アイ・アール、2011年度 全上場企業 ホームページ充実度ランキングを発表

- 全上場企業総合ランキングで東芝がV4、新興市場ランキングでフィールズがV2達成 -

日興アイ・アール株式会社(以下、日興アイ・アール)は、「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3つの視点で設定した135の客観的な評価項目に基づき、全上場企業3,603社のホームページについて調査を行ない、「2011年度 全上場企業 ホームページ充実度ランキング」を発表いたしました。

本年度における全上場企業総合ランキングでは株式会社東芝(東証1部)が4年連続で1位、新興市場ランキングではフィールズ株式会社(JASDAQ)が2年連続で1位となりました。

このホームページ充実度ランキングは、全上場企業のホームページにおける情報開示の充実度調査と、企業の情報開示に対する意識醸成の促進を目的としており、2003年度に開始して以来、毎年発表を続けており今年度で9回目となります。

また、調査するホームページの評価項目は、日興アイ・アールが独自の視点で設定し、毎年見直しを行っており、このランキング結果は、株式会社日本経済新聞デジタルメディアの「NEEDS-Cges」(コーポレート・ガバナンス評価システム)の「情報開示・ウェブの充実度」項目における指標判断の一つに採用されています。

#### 2011年度全上場企業ホームページ充実度ランキング 総合ランキング ベスト5

順位	前回 順位	企業名	総合 ポイント
1	(1)	(6502) (株) 東芝	89.3
2	(11)	(9984) ソフトバンク(株)	88.0
3	(2)	(9437) (株) NTTドコモ	87.9
4	(8)	(6762) TDK(株)	87.8
5	(10)	(6701) 日本電気(株)	86.0
5	(3)	(9697) (株) カプコン	86.0

「2011年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」結果の概要および詳細につきましては、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> に掲載しております。

## 2011 年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査結果の概要と特徴

- ・株式会社東芝が総合ランキングで 4 年連続 1 位、新興市場ランキングではフィールズ株式会社が 2 年連続 1 位となりました。また、総合ランキングの上位企業(トップ 10)には、情報通信業(ソフトバンク株式会社、株式会社 NTT ドコモ、株式会社カプコン)および電気機器(TDK 株式会社、日本電気株式会社、ミネベア株式会社)の企業が多くランクインしました。
- ・評価視点別では、「分かりやすさ」トップにソフトバンク株式会社、「使いやすさ」トップに株式会社東芝、「情報の多さ」トップに株式会社 NTT ドコモがランクインしました。
- ・カテゴリ別ページの設置状況は、CSR・環境対応、ガバナンス、個人投資家向け情報の掲載率が年々上昇しております。本年度の調査では、CSR・環境対応専用ページ・コンテンツを掲載する企業は全上場企業のうち 55.0%(昨年度:50.9%)、ガバナンス専用ページを設けている企業は 28.6%(昨年度:26.0%)、個人投資家向け専用ページ・コンテンツを設けている企業は 14.6%(昨年度:12.3%)となりました。また、前回から調査をはじめた経営戦略専用ページの掲載率は 22.7%と、昨年度の 14.8%から大きく増加しています。
- ・IR 情報の掲載状況については、株主通信、CSR レポート、ガバナンス報告書などの IR 資料開示率が上昇しています。  
決算関連情報では、決算説明会プレゼンテーション資料の掲載を 53.9%(昨年度:52.4%)、決算説明会動画配信を約 12.9%(昨年度:約 12.7%)の企業が実施しております。
- ・株式時価総額別では、時価総額の大きさに比例してホームページの充実が図られています。特に、「情報の多さ」についてその差が顕著になっております。
- ・コーポレート・ガバナンスおよび CSR に関する評価項目の評点ポイントが高い企業は、昨年引き続き、総合ランキングにおいても上位にランクインする傾向が見られます。  
年々、情報の質も高まってきており、株主・投資家との関係などを明記する企業や、社会貢献・環境活動の実績報告、経営管理・マネージメントの目標設定と結果報告、環境に係る財務報告などの詳細情報を掲載する企業が増えており、ガバナンス、CSR への意識の高さがうかがわれます。
- ・個人投資家に配慮したホームページを作成している企業は、特に「使いやすさ」における評価が高く、「情報の多さ」も十分に考慮していると言えます。個人投資家向け順位において、上位のほぼ全ての企業が、総合ランキングの上位 30 位以内にもランクインしており、ホームページ全体の充実度が高い傾向にあります。  
上位にランクインしている企業は、自社の特徴や強み・戦略のポイントについて、分かりやすくまとめた専用コンテンツを用意するとともに、投資判断に必要な詳細情報を整理して提供しており、個人投資家の様々なニーズに対応する姿勢が見られます。
- ・説明会コンテンツや戦略および株主還元に関する記載の充実度は、電気機器、情報・通信の企業が上位にランクインしており、決算説明会以外の様々なイベント情報や経営戦略、株主還元に関する詳細をホームページ上で積極的に説明する傾向が見られます。

## 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査概要

### (1) コンセプト

企業ホームページについて、株主、投資家、消費者、取引企業、就職希望者など、企業のステークホルダーが情報を取得し、状況を把握するための要素をどの程度備えているかを調査しました。

### (2) 対象企業

全上場企業 3,603 社

(2011年5月末時点での上場企業とREIT。但し、2011年10月末時点で上場廃止となった企業および外国企業を除く)

### (3) 調査対象

対象企業のコーポレートサイト(商用サイトを除く)

### (4) 調査期間

2011年8月～2011年10月

(上記期間内でのリニューアル・内容更新が行なわれた場合、リニューアル・内容更新前の状態で評価している可能性があります)

### (5) 評価項目

今年度は、135の評価項目に基づき調査を行いました。評価項目は、「分かりやすさ」30項目、「使いやすさ」27項目、「情報の多さ」78項目とし、レイアウト・デザイン・文体等の主観的内容は評価の対象外としました。

今後、環境の変化を踏まえ、適宜、評価項目の見直しを行います。

### (6) 評価方法

対象企業のホームページごとに各評価項目の有無を調査し、該当項目をカウントしました。その該当項目数と、全体の平均該当項目数とで算出した偏差値を各評価項目の評点ポイントとしました。3つの評価項目の評点ポイントを平均したものを総合ポイントとし、総合ランキングを作成しました。

ポイントの目安は、偏差値50超が平均以上、50が平均、50未満が平均未満となります。

1. 総合ランキング ベスト 20 (同ポイントの場合は銘柄コード順)

順位	前回 順位	企業名	総合 ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
1	1	(6502) (株) 東芝	89.3	82.9	98.1	87.0
2	11	(9984) ソフトバンク(株)	88.0	88.9	90.4	84.7
3	2	(9437) (株) NTT ドコモ	87.9	84.9	90.4	88.5
4	8	(6762) TDK(株)	87.8	86.9	90.4	86.2
5	10	(6701) 日本電気(株)	86.0	82.9	90.4	84.7
5	3	(9697) (株) カプコン	86.0	82.9	95.5	79.5
7	6	(9531) 東京ガス(株)	83.3	78.8	87.9	83.2
8	9	(6479) ミネベア(株)	82.6	82.9	85.3	79.5
9	61	(4503) アステラス製薬(株)	81.0	80.8	82.7	79.5
10	5	(4901) 富士フイルムホールディングス(株)	80.8	76.8	85.3	80.2
11	14	(6504) 富士電機(株)	80.1	76.8	80.2	83.2
12	4	(9433) KDDI(株)	79.9	74.8	85.3	79.5
13	29	(2767) フィールズ(株)	79.6	78.8	82.7	77.3
13	191	(7751) キヤノン(株)	79.6	82.9	80.2	75.8
13	82	(8566) リコーリース(株)	79.6	80.8	85.3	72.8
16	684	(5741) 古河スカイ(株)	79.4	76.8	87.9	73.5
16	41	(7270) 富士重工業(株)	79.4	80.8	80.2	77.3
18	33	(8574) プロミス(株)	79.2	76.8	82.7	78.0
19	12	(4519) 中外製薬(株)	78.9	76.8	82.7	77.3
20	19	(6645) オムロン(株)	78.6	72.8	82.7	80.2

・各評価項目中、一番高い評点をハイライトしています。

## 2. 業種別ランキング トップ企業

業種	(銘柄コード) 企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
電気機器	(6502) (株) 東芝	89.3	82.9	98.1	87.0
情報・通信業	(9984) ソフトバンク(株)	88.0	88.9	90.4	84.7
電気・ガス業	(9531) 東京ガス(株)	83.3	78.8	87.9	83.2
医薬品	(4503) アステラス製薬(株)	81.0	80.8	82.7	79.5
化学	(4901) 富士フイルムホールディングス(株)	80.8	76.8	85.3	80.2
卸売業	(2767) フィールズ(株)	79.6	78.8	82.7	77.3
その他金融業	(8566) リコーリース(株)	79.6	80.8	85.3	72.8
輸送用機器	(7270) 富士重工業(株)	79.4	80.8	80.2	77.3
非鉄金属	(5741) 古河スカイ(株)	79.4	76.8	87.9	73.5
石油・石炭製品	(5007) コスモ石油(株)	78.4	70.8	87.9	76.5
サービス業	(9783) (株) ベネッセホールディングス	77.7	76.8	77.6	78.7
保険業	(8766) 東京海上ホールディングス(株)	77.5	78.8	72.5	81.0
鉄鋼	(5456) 朝日工業(株)	77.1	72.8	87.9	70.5
機械	(7011) 三菱重工業(株)	77.0	74.8	82.7	73.5
不動産業	(8933) NTT 都市開発(株)	76.6	70.8	80.2	78.7
精密機器	(7732) (株) トプコン	76.1	78.8	75.1	74.3
銀行業	(8411) (株) みずほフィナンシャルグループ	76.0	74.8	75.1	78.0
その他製品	(7966) リンテック(株)	75.9	66.8	85.3	75.8
繊維製品	(3401) 帝人(株)	75.4	70.8	75.1	80.2
ガラス・土石製品	(5202) 日本板硝子(株)	75.3	68.8	82.7	74.3
食料品	(2897) 日清食品ホールディングス(株)	74.9	74.8	80.2	69.8
鉱業	(1605) 国際石油開発帝石(株)	73.0	70.8	72.5	75.8
海運業	(9101) 日本郵船(株)	72.7	70.8	70.0	77.3
REIT	(8968) 福岡リート投資法人	72.2	78.8	72.5	65.3
陸運業	(9005) 東京急行電鉄(株)	71.4	70.8	70.0	73.5
小売業	(9983) (株) ファーストリテイリング	71.1	68.8	67.4	77.3
建設業	(1982) 日比谷総合設備(株)	70.9	72.8	72.5	67.5
水産・農林業	(1332) 日本水産(株)	70.0	64.8	72.5	72.8
証券・商品先物取引業	(8604) 野村ホールディングス(株)	70.0	64.8	72.5	72.8
パルプ・紙	(3893) (株) 日本製紙グループ本社	65.4	64.8	62.3	69.0
金属製品	(3436) (株) SUMCO	63.9	62.7	67.4	61.5
ゴム製品	(5101) 横浜ゴム(株)	63.7	66.8	59.8	64.5
空運業	(9202) 全日本空輸(株)	61.7	56.7	57.2	71.3
倉庫・運輸関連業	(9370) 郵船ロジスティクス(株)	61.2	62.7	57.2	63.8

・業種数は 33 業種と REIT となります。

### 3. 新興市場ランキング ベスト5

順位	前回 順位	(銘柄コード) 企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
1	(1)	(2767) フィールズ(株)	79.6	78.8	82.7	77.3
2	(2)	(5456) 朝日工業(株)	77.1	72.8	87.9	70.5
3	(4)	(9438) (株)エムティーアイ	75.9	78.8	77.6	71.3
4	(5)	(2163) (株)アルトナー	72.0	74.8	75.1	66.0
5	(6)	(4817) (株)ジュピターテレコム	70.8	78.8	62.3	71.3

・新興市場は東証マザーズ、JASDAQ、札証アンビシャス、名証セントレックス、福証 Q-Board となります。

この調査は当記載内容を目的として実施しており、投資勧誘を目的としたものではありません。また、各企業のホームページは本調査期間以降に変更されている場合があります。最新の情報については、ご確認をお願い致します。本調査内容の全ての部分に関する一切の権利は日興アイ・アールに属します。

内容に関するお問合せ先:

日興アイ・アール株式会社

濱田 03-3660-2156 hamada@nikkoir.co.jp

小出 03-3660-1093 koide@nikkoir.co.jp

Fax 03-3660-2146

## ==== 日興アイ・アール『ホームページ関連サービス』のご案内 =====

## 1. 『ホームページ比較診断レポート』の提供について

今回の調査結果を踏まえた『ホームページ比較診断レポート』を、上場企業向けに有償にて提供いたします。このレポートを購入いただくと、全上場企業における貴社ホームページの客観的な順位が把握できるとともに、今後のホームページリニューアルのための改善点を効率よく把握することができます。

詳細および申し込みは、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> でご覧下さい。

レポートの構成は以下の内容です。

- ・貴社ホームページの評価結果  
(全上場企業における貴社の総合・業種別ランキング結果および各視点別得点など)
- ・約 90 のホームページ評価項目における他社との比較診断  
(ご希望の上場会社 5 社を選択いただけます)
- ・上記のホームページ評価調査における評価項目実施状況  
(時価総額別、業種別、市場別の評価項目実施率など)
- ・上場企業全体におけるホームページの動向  
(情報の掲載状況分析、市場別傾向分析、業種別傾向分析など)

## 2. 『表彰ロゴ』の提供について

今回の調査結果における、ランキング上位企業に、企業ホームページ等に掲載可能な「表彰ロゴ」(英語版も可能)を有償にて提供します。詳細および申し込み先は、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> をご覧下さい。

表彰項目	ポイントまたは順位	表彰ロゴ	
総合ランキング	総合ポイント 70 以上	最優秀サイト(総合ランキング)	
	総合ポイント 65 以上 70 未満	優秀サイト(総合ランキング)	
	総合ポイント 60 以上 65 未満	優良サイト(総合ランキング)	
業種別ランキング	1 位	最優秀サイト(業種別ランキング)	
	2~5 位	優秀サイト(業種別ランキング)	
新興市場ランキング	1~20 位	最優秀サイト(新興市場ランキング)	
	21 位~50 位	優秀サイト(新興市場ランキング)	
	51 位~100 位	優良サイト(新興市場ランキング)	

## 3. 『ホームページ改善サービス』コーポレートサイト・IR サイト制作を提供

今回の調査結果を踏まえて、上場企業向けにコンサルティングからサイト制作までをご提供する「ホームページ改善サービス」を実施しています。詳細は日興アイ・アールまでご連絡下さい。